

本当の「効率」とは

片桐英数塾通信

今を頑張ること。 それが自信になる。

ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。・。・。毎年毎年、入学してくる子、卒業していく子が入れ替わっていきます。しかし、顔ぶれが変わっているにも関わらず、時の流れは同じように感じてしまいます。そんなことを考えておりましたら、なんなのかは分かりませんが、方丈記のこの一文を思い出しておりました。

そろそろ高3生は過去問対策に夢中になる頃ですが、それも変わらず例年のこととして、傾向を体で覚えておくというのは、やはりとても大切なことだと思います。が、センター試験を終えた人が口にする言葉に「傾向に無い問題を見て頭が真っ白になってしまった」というのも例年、変わらず聞く言葉です。過去問はやっておくべきですが、それだけに、いろいろな問題に向き合っておくことも大事だと思います。それと、実践問題を多く解いているとどうしても基礎が放置されてしまいます。意識してケアすることを心がけて下さい。個人個人で対策も変わってくると思いますので、一般的ななことだけ書かせて頂きました。

今のみならず、同じように先輩達も高校生活を過ごしたわけですが、

そんな先輩達が長期休暇になって塾に顔を出してくれて、「高校時代」を振り返っている話をします。何か感じてもらえれば、・。・。と読んでおきます。

「今の常識は2011に行っても常識？」

先輩から「受験勉強なんて高3になってから始めて全然間に合う」という引継ぎ事項でもあるのかと思う程、徹底して引き継がれていきます。顔ぶれは変われどやることは同じ。そんな気持ちでおります。しかし、それってどこに行っても常識なのでしょうか？

恐らく、非常識とまではいかないでしょうが、思ったほど常識でもないかと思えます。もちろんそのことを分かってる人もいるのですが、どうしても気になってしまふのが、「高3になってから頑張れば良いわ」と考えて、高1・高2をのんびり構えて高3になって焦りまくるタイプの人です。高3になってから伸びるのは、例外無く高1・高2で出来る限りの努力をしてきた人です。

大学受験の一般的な常識では、高1・高2をしっかりと頑張らば、そして高3になってからは実戦力を鍛えて初めて全国の受験生と戦えます。

「高3になったら受験勉強」というのは、実は一般的な常識ではありませぬ。大学受験は三年間でするものと考えての方が常識的です。

観一祭も終わり、お祭りの時期がやってきて、もちろん高3生でお祭りに燃えるというの、ちよつとした自殺行為のようなものです。高2生もそろそろ浮かれず真剣になって下さい。

卒業生に多いのは、高3を悔いるよりも「もっと高1・高2で頑張れば良かった」ですから。

効率って？

志望校へと進学した卒業生と話をしていくとよく出てくる言葉に「効率」があります。彼らの言う「効率」とは三年間を通しての「効率」であって、「後でやり直さなくて良いようにしておく」ということを意味しています。だから、「合格の秘訣」とかを聞いても、「時間の無い中、特別なことなんてする余裕は無いから、学校のことを徹底してやっていた。中途半端にやっただけでやり直すのは効率が悪いから」という感じの話ばかりです。実際にこの夏休みに顔を出してくれた卒業生に聞くと、「学校の提出物は期日を必ず守るようにしていた」とか、「学校の授業じゃ絶対寝ない」とか、本当に当たり前のような返事ばかりが返ってきました。

一番の「効率」とは、高1から意識して、高3になってもやり直さなくてもよいように、その時その時で、学校のことをキ

チンとしておくことでしょうか。

「定期試験」の考え方。

高2・高1の部活をしている時って時間がどうしても足りなくなるので、「定期試験だけ頑張る」って人が多数派だろうと思います。その気持ちも分かるのですが、卒業後、志望校へ進学した先輩で「定期試験だけ頑張った」と言う人が皆無なのもまた事実。卒業生がするのは「校外模試」や「実力テスト」の話ばかりです。

ちよつと説明しますと、「定期試験」というものは、期間中に習ったことのテストで、言わば、手に入れたばかりの道具がキチンと使えるかのテストです。手に入れたばかりの道具はキチンと使えるように頑張る練習しておかなければなりません。でも、使う道具さえ決まっていれば、割と使いこなせるようになるもので。・。・。

大学入試問題は、これまでに習った全ての道具のうち何を使おうとどうやって解くかが重要となります。しかも、どの道具を使って解くのかなどむしろ分かり難く書かれていますので、問題の意図を見抜いて、的確に使うべき道具を選び、体の一部のように使いこなせられるまでになっておかなければなりません。だから、「定期試験だけ」ではなく、全ての道具から選ばせて使わせるような「校外模試」や「実力テスト」で総合力を磨いておくこと

が大事になってくるのです。それと、新しい道具を覚える度に古い道具を忘れてしまう人も多いようですが、大学入試までに習う道具は数多くあって、一遍に覚えるのはとても無理なので、三年間かけて、ちよつとずつ覚える度に忘れていたのでは、後になってやり直さなければならなくなってしまいますよ。

本当に活きるのは、**頑張った経験。**

卒業生と話をしていて一番嬉しいのは「大学に合格した喜びよりも自分が頑張った、頑張れたことが嬉しい」という言葉を聞いた時です。

自分が頑張らなければならぬ時に頑張れる人間だと思えることはとても大切だと思います。これからの人生で、自分が頑張らなければならぬ時に、「自分はあの時頑張れた。だから今度もやるはずだ。」と思えるか、「自分はあの時頑張れなかった。だから今度もやるかどうかわからない。」と思ってしまうかは随分と生き方も違ってくるでしょう。

今、みんながすべきは「頑張った経験」をすることです。自分の心に問いかけて、今、目を逸らしている事、逃げていた事を考えてみて下さい。たぶん、何をすれば「頑張った」と思えるかは、「自分」は既に気付いているはずなんです。

頑張っていて、今は苦しいとか辛いとか感じて、負けて頑張っていたら、将来の自分は絶対に感謝してくれるでしょうね。



河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

お車での送迎について

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願い致します。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

坂本教室からのお知らせ

※ 坂本教室の10月の休日は、**3日(日) 10日(日) 17日(日) 24日(日) 31日(日)**です。

メールでの連絡はこちらまで
info@katagirijuku.com

河合サテライト講座
リスニング対策講座受講割引のご案内

センター試験で「リスニングが苦手！」という人のために！

今回、期間限定で対象の河合サテライト講座の受講料を塾生に限り、特別料金と致しました。

割引対象講座 センター試験対策英語 (リスニング対策編)

通常価格 13,000円→
特別受講料 10,000円(税込)
(申込み後のキャンセルは出来ません。)

12月末までの期間限定になります。
詳しくは坂本教室までお問い合わせください。

第62回 観一祭 開催

9月11、12日、観音寺一高で観一祭が開かれました。今年のテーマは「Home Town~111年目の感謝~」3年生による伝統のデカンショ、民謡踊りをはじめ、思考を凝らした催し・展示等、観一魂を大いに見せてくれました。

